

平成30年版

問題集



香芝検定

香芝検定実行委員会



問1 香芝市には野見宿禰のみのすくねと当麻蹶速たいまのけはやの初の天覧相撲こしおれだにまつわる「腰折田りょうふくじ」が良福寺・磯壁地区いそかべにあったとして、相撲発祥の地としての伝承があります。『日本書紀』にはどの天皇の御前で行われたと書かれているでしょうか。

- (1) 第10代崇神天皇すじん (2) 第11代垂仁天皇すいにん (3) 第12代景行天皇けいこう (4) 第13代成務天皇せいむ

問2 香芝市内の築造時期が推定されている古墳の中で、いちばん古いとされる古墳は、どれでしょうか。

- (1) 今泉古墳(今泉) (2) 車塚古墳(平野) (3) 山口古墳(旭ヶ丘) (4) 土山古墳(瓦口)どやま

問3 『日本書紀』によると、第25代武烈天皇ぶれつは、即位前もののべのあらかひのおおむらじに物部麤鹿火大連の娘・影媛かげひめに恋をしますが失恋し、恋敵を討ったとされています。その相手は、誰でしょうか。

- (1) 蘇我韓子そがのからこ (2) 平群鮪へぐりのしび (3) 大伴金村おおとものかなむら (4) 石川宿禰いしかわのすくね

問4 その武烈天皇は、若くして崩御ほうぎょ(死去)したとされています。何歳だったのでしょうか。

- (1) 16歳 (2) 18歳 (3) 20歳 (4) 22歳

問5 尼寺廢寺北遺跡にんじはいじの塔跡で見つかった心柱を据える心礎は、国内最大級の巨石です。どれほどの大きさがあるでしょうか。

- (1) 約2.8m四方 (2) 約3m四方 (3) 約3.4m四方 (4) 約3.8m四方

問6 尼寺廢寺北遺跡の発掘調査等により、南北二つの寺院跡が確認され、僧寺と尼寺の関係にあったと考えられています。では、寺院名はどのように考えられるでしょうか。

- (1) 雲門寺と雲門尼寺うもんじ (2) 葛城寺と葛城尼寺かつらぎ (3) 般若寺と般若尼寺 (4) 片岡王寺と片岡尼寺

問7 宮内庁くないちょうによる「大津皇子二上山墓」が二上山雄岳頂上にありますが、二上山麓にある古墳がその棺の大きさから実際の墓ではないかとする説もあります。どの古墳でしょうか。

- (1) 三ツ塚古墳 (2) 鳥谷口古墳 (3) 二子塚古墳 (4) 大平塚古墳

問8 香芝市内には毎年決まった日に行われている祭りや縁日があります。毎年7月10日に行われているのは、どれでしょうか。

- (1) 板仏いたぼけ(狐井・福応寺)きついで (2) 宵宮祭よみや(今泉・志都美神社)しずみ
(3) こんぴら祭(下田東・金比羅宮) (4) 戎祭り(北今市・戎神社)

問9 金剛砂こんごうしゃのことが記された最初の文献は、どれでしょうか。

- (1) 『日本書紀』 (2) 『古事記』 (3) 『続日本紀』しよくにほんぎ (4) 『続日本後紀』しよくにほんこうき

問10 香芝市の志都美地区から上牧町・王寺町に及ぶ地域は、古くから「片岡」と呼ばれてきました。「片岡」を詠んだ和歌のうち、『万葉集』のものは、どの歌でしょうか。

- (1) しなてるや 片岡山に 飯いぬに飢うゑて 臥ふせる旅人 あはれ親なし
(2) 片岡の 朝あしたの原を とよむまで 山郭公やまほととぎす いまぞ鳴くなる
(3) 狩うに來ば ゆきてもみまし 片岡の 朝あしたの原に 雉子きぎす鳴くなり
(4) 片岡の この向つ峰しいまに 権い時かば 今年この夏なつの 陰かげにならむか

問11 仏教は、華嚴宗けごん・法相宗ほっそう・律宗・真言宗・天台宗・日蓮宗・浄土宗・浄土真宗・融通念仏宗・時宗・曹洞宗そうとう・臨濟宗りんざい・黄檗宗おうぼくの13宗派が主なものですが、香芝市内にないのは、どの宗派の寺院でしょうか。

- (1) 日蓮宗 (2) 曹洞宗 (3) 融通念仏宗 (4) 黄檗宗

問12 良福寺地区の阿日寺境内にある一つのお堂の屋根瓦にはある漢字一文字が刻まれています。何という文字でしょうか。

- (1) 如 (2) 蓮 (3) 惠 (4) 源

問13 平成17(2005)年に平安時代のものと考えられる木簡が発見されました。どの遺跡でしょうか。

- (1) 磯壁遺跡 (2) 狐井遺跡 (3) 下田東遺跡 (4) 瓦口森田遺跡

問14 鎌倉時代から、「結鎮座^{けっちんざ}」と呼ばれる氏子集団があり、近年では毎年1月26日に「渡御行事^{とぎよ}」が行われています。どの神社でしょうか。

- (1) 八幡神社^{はちまん} (関屋) (2) 杵築神社^{きつき} (平野)
(3) 鹿島神社^{かしま} (下田西) (4) 十二社神社 (五位堂)

問15 応仁の乱が勃発し、細川勝元率いる東軍と、山名宗全率いる西軍との間で、京都を中心に11年間戦が続きました。この時、香芝の岡氏は、西軍につきました。東軍について大和国人^{こくじん}は、誰だったでしょうか。

- (1) 箸尾氏 (2) 越智氏^{おち} (3) 万歳氏^{ばんざい} (4) 小泉氏

問16 天文年間(1532-1554)に、松永弾正久秀^{だんじょう}が磯壁村に攻め入り、その家来が正林院にあった木像の地藏尊を盗んで背負って逃げたところ、地藏から火が出て火傷をし、たまらず池に投げ捨てたという伝説があります。どこの池に投げ捨てたでしょうか。

- (1) 千股池^{ちまた} (2) 吉ヶ池 (3) カタマ池 (4) 古池

問17 戦国武将の岡氏は、織田信長の命により明智光秀によって滅ぼされました。後に、岡彌次郎^{やじろう} (弥治郎) と岡周防守^{すおうのかみ}国高を菩提する五輪塔が建てられたと伝わります。どの寺院墓地にあるとされているでしょうか。

- (1) 専称寺 (畑) (2) 正林院 (磯壁) (3) 阿日寺 (良福寺) (4) 西念寺 (逢坂)

問18 磯壁という地区が香芝市にあります。磯壁の名称の由来として有力な説とされているのは、どれでしょうか。

- (1) 石神がイソカベに転訛した。 (2) 岡氏の前衛「壁」となった氏族がいた。
(3) 紀州(磯)からの移民である。 (4) 五十(いそ)の擁壁が集落の南東側にあった。

問19 江戸時代、五位堂のため池に、「突然理不尽な年貢をかけられ、新左衛門という村役が池の堤で腹を切ってお上に年貢を廃するように訴えた。」と伝わっています。五位堂墓地内にはこの新左衛門を称えた「嗚呼愛郷無縁之碑^{あ あいきょうむえんのひ}」が建てられ、「愛郷の人、腹切新左衛門」として語り継がれています。この時の柳沢藩の藩主は、誰であったと考えられるでしょうか。

- (1) 松平忠明 (2) 松平信之 (3) 本多政勝 (4) 本多忠平

問20 五位堂^{い も じ}鋳物師が製作した阿日寺^{あ じ}の梵鐘^{ぼんしょう}は、戦時中に国に供出されていました。戦後、なぜか宇陀市の寺院に返還されましたが、後に誤りとわかり阿日寺に戻されました。梵鐘は、どの寺院に返還されていたでしょうか。

- (1) 妙覚寺 (2) 悟真寺 (3) 宗祐寺 (4) 大野寺

問21 近松門左衛門の人形浄瑠璃の作品で、『冥途^{めいど}の飛脚』があります。その中で、香芝市内の寺院が物語中に出てきます。どのお寺でしょうか。

- (1) 正福寺 (今泉) (2) 正楽寺^{ひらの} (平野) (3) 長福寺 (瓦口) (4) 寂照寺 (鎌田)

- 問22 北今市は、その昔今市村でしたが同じ葛下郡かつげぐんに今市村（現：葛城市南今市）があったため、北今市村と改称したとされています。いつ頃のことと考えられているでしょうか。
- (1) 享保年間(1716-1736) (2) 寛政年間(1789-1801)
(3) 天保年間(1831-1845) (4) 安政年間(1855-1860)
- 問23 伊能忠敬ただたかは、文政4(1821)年に完成した『大日本沿海輿地全図よち』の測量に尽力し、この地図により国土の正確な姿が明らかになりました。忠敬は、大和にも訪れ、香芝も歩いています。この時に著された『伊能地図』に表示されていないのは、どの村名でしょうか。
- (1) 今泉村 (2) 下田村 (3) 良福寺村 (4) 鎌田村
- 問24 江戸時代、香芝の村々の大半は、郡山藩に属していました。明治維新を迎え、最後の藩主であったのは、誰でしょうか。
- (1) 水野勝成かつなり (2) 松平忠明 (3) 本多忠烈ただつら (4) 柳沢保申やすのぶ
- 問25 明治維新を迎えた頃、香芝にはいくつの村々があったでしょうか。
- (1) 21村 (2) 31村 (3) 41村 (4) 51村
- 問26 現在の国道165号が通る田尻峠は、明治の初め頃に切り開かれた道路です。街道沿いの人たちも工事に協力しました。何人が協力したと記録されているでしょうか。
- (1) 610人 (2) 1,610人 (3) 2,610人 (4) 3,610人
- 問27 関屋は、奈良時代から大和と大坂を往来する関所が設けられていたこともあり、宿場としても栄えていましたが、やがて廃れていきます。いつ頃からでしょうか。
- (1) 江戸末期 (2) 明治初期 (3) 明治中期 (4) 明治末期
- 問28 鎌田地区にある柳ヶ池（新池）は、明治の中頃に作られました。この池作りに力を注いだのは、誰でしょうか。
- (1) 小川文五郎 (2) 税所篤さいしよ あつし (3) 農業佐平 (4) 津田五郎兵衛
- 問29 志都美地区の上中は、その昔上里村と中筋村が合併して上中村となりました。合併したのは、いつのことだったでしょうか。
- (1) 明治12(1879)年 (2) 明治15(1882)年 (3) 明治18(1885)年 (4) 明治21(1888)年
- 問30 香芝で最初にできた鉄道の駅は、現在のどの駅でしょうか。
- (1) 五位堂駅 (2) JR五位堂駅 (3) 志都美駅 (4) 香芝駅
- 問31 香芝町の時代に属していた北葛城郡は、明治30(1897)年に葛下郡とある郡が一つになって誕生しました。どの郡でしょうか。
- (1) 葛上郡かつじょう (2) 広瀬郡 (3) 賀美郡かみ (4) 片岡郡
- 問32 香芝市の特産品の一つに「金剛砂」がありました。これを全国に広めた功労者は、誰でしょうか。
- (1) 山田幸司 (2) 野々村梅吉 (3) 吉田庄重郎 (4) 安川亀太郎
- 問33 香芝では、大正時代に養蚕業ようさんが盛んになりました。何を生産していたでしょうか。
- (1) 絹糸 (2) 木綿 (3) 草履ぞうり (4) 畳

- 問34 南都銀行は、4つの銀行が合併した銀行です。合併に関係していない銀行名は、どれでしょうか。
(1) 六十八銀行 (2) 吉野銀行 (3) 八木銀行 (4) 高田銀行
- 問35 昭和21(1946)年に奈良県で4例目となる「銀装大刀」が採集されました。市内のどこから出土したでしょうか。
(1) 瓦口 (2) 逢坂 (3) 五ヶ所 (4) 今泉
- 問36 香芝に消防団が組織されたのは、いつだったでしょうか。
(1) 明治20(1887)年 (2) 大正10(1921)年 (3) 昭和22(1947)年 (4) 昭和30(1955)年
- 問37 香芝市内を流れる一級河川9河川のうち、奈良県水防計画で警戒すべき河川として葛下川ともう一つの河川が指定されています。どの河川でしょうか。
(1) 原川 (2) 平野川 (3) 烏居川 (4) 熊谷川くまたに
- 問38 昭和31(1956)年に4村合併により香芝町が誕生したときの人口は、何人だったでしょうか。
(1) 約15,000人 (2) 約20,000人 (3) 約25,000人 (4) 約30,000人
- 問39 香芝町が誕生したときの最初の町長は、誰だったでしょうか。
(1) 田中国太郎 (2) 瀧井芳一 (3) 山本甚五郎 (4) 黒松喜洲
- 問40 現在、香芝市内には市立小学校が10校ありますが、昭和31(1956)年に香芝町が誕生したとき、小学校は、何校あったでしょうか。
(1) 4校 (2) 5校 (3) 6校 (4) 7校
- 問41 香芝でごみ収集業務が行われ始めたのは、いつからでしょうか。
(1) 昭和30(1955)年 (2) 昭和35(1960)年 (3) 昭和40(1965)年 (4) 昭和45(1970)年
- 問42 香芝市内に昭和35(1960)年以前に建てられた家屋は、何戸残っているでしょうか。
(1) 約200戸 (2) 約400戸 (3) 約600戸 (4) 約800戸
- 問43 関屋小学校は、ある時期まで二上小学校の分校でした。関屋小学校として独立したのは、いつのことだったでしょうか。
(1) 昭和41(1966)年 (2) 昭和46(1971)年 (3) 昭和51(1976)年 (4) 昭和56(1981)年
- 問44 香芝市では、毎月「交通安全の日」が決められています。いつでしょうか。
(1) 毎月10日 (2) 毎月15日 (3) 毎月20日 (4) 毎月25日
- 問45 住所の表示には「〇〇番地〇」というふうに土地登記簿の地番で表す地区と「〇番〇号」という住居表示方式で表す地区があります。住所を「〇番〇号」と住居表示方式で表すのは、どの地区でしょうか。
(1) 西真美二丁目 (2) すみれ野二丁目 (3) 白鳳台二丁目 (4) 関屋北二丁目
- 問46 香芝市のスポーツ・レクリエーション施設の一つに地域体育館があります。どの体育館でしょうか。
(1) 東部地域体育館 (2) 西部地域体育館 (3) 南部地域体育館 (4) 北部地域体育館
- 問47 香芝市内で、区画整理事業によらずに開発された住宅地は、どの地区でしょうか。
(1) 関屋北地区 (2) 西真美地区 (3) 高山台地区 (4) すみれ野地区

問48 伊勢湾の神島から淡路島の伊勢ノ森を地図上で線を結ぶと、春分・秋分の日に太陽が通る東西線と重なります。その線上には約3kmごとに社寺や遺跡等があり、太陽信仰と結びつけ、「太陽の道」とも呼ばれ、香芝市もこの線上にあたります。この線上にないのは、どれでしょうか。

- (1) 伊勢齋宮 (2) 長谷寺 (3) 檜原神社 (4) 大仙陵古墳(伝 仁徳天皇陵)

問49 現在の保健センター(逢坂一丁目)は、平成25(2013)年1月に下田西二丁目から総合福祉センターの西側に移転しました。地域保健の拠点施設として香芝に初めて保健センターが設置されたのは、いつだったでしょうか。

- (1) 昭和48(1973)年 (2) 昭和52(1977)年 (3) 昭和56(1981)年 (4) 昭和60(1985)年

問50 西名阪自動車道の香芝インターチェンジにはかつて料金所がありました。廃止されたのは、いつだったでしょうか。

- (1) 昭和56(1981)年 (2) 昭和61(1986)年 (3) 平成3(1991)年 (4) 平成8(1996)年

問51 近畿日本鉄道の五位堂検修車庫は、いつ建てられたでしょうか。

- (1) 昭和47(1972)年 (2) 昭和57(1982)年 (3) 平成4(1992)年 (4) 平成14(2002)年

問52 JR和歌山線の王寺駅-五条駅間が電化されたのは、いつだったでしょうか。

- (1) 昭和53(1978)年 (2) 昭和55(1980)年 (3) 昭和57(1982)年 (4) 昭和59(1984)年

問53 昭和59(1984)年に、奈良県で第39回国民体育大会が開催されました。何という国体でしょうか。

- (1) あおがき国体 (2) だいぶつ国体 (3) まほろば国体 (4) わかくさ国体

問54 香芝市の市の花は、スマイレです。いつ制定されたでしょうか。

- (1) 昭和31(1956)年 (2) 昭和45(1970)年 (3) 昭和60(1985)年 (4) 平成3(1991)年

問55 香芝出身の毎日放送テレビの元アナウンサー・佐々木美絵さんは、昭和60(1985)年まで人気テレビ番組であった「アップダウンクイズ」で小池清アナウンサーのアシスタントとして活躍されました。彼女の配偶者は、誰でしょうか。

- (1) 小池 清 (2) 斎藤 努 (3) 西 靖 (4) 浜村 淳

問56 真美ヶ丘は、香芝市内でも比較的新しい町名です。真美ヶ丘誕生の折に、その区域に一部分を編入された大字が複数ありました。編入されなかったのは、どの大字でしょうか。

- (1) 大字五位堂 (2) 大字別所 (3) 大字瓦口 (4) 大字五ヶ所

問57 香芝東中学校の南側、かつらぎの道に隣接して大和鈴山城塁跡が残されています。この場所は、遠く1km以上離れた地区の飛地となっています。どの地区でしょうか。

- (1) 鎌田 (2) 良福寺 (3) 磯壁 (4) 畑

問58 香芝市では、全国でも珍しい金剛砂がとれ、紙やすりをはじめとする研磨材に使われていましたが、30年ほど前から採られなくなり、現在では、原材料を輸入に頼っています。どの国から輸入しているでしょうか。

- (1) 中国 (2) モンゴル (3) ロシア (4) インド

問59 香芝町が「市」になるための条件の一つだった、人口5万人以上になったのは、いつだったでしょうか。

- (1) 昭和63(1988)年 (2) 平成元(1989)年 (3) 平成2(1990)年 (4) 平成3(1991)年

- 問60 香芝市になって、最初に開校した小学校は、どの学校でしょうか。
(1) 鎌田小学校 (2) 真美ヶ丘東小学校 (3) 真美ヶ丘西小学校 (4) 旭ヶ丘小学校
- 問61 香芝市の市制施行と同時に行われたのは、何でしょうか。
(1) カッシー誕生 (2) 市民憲章制定 (3) 大字の廃止 (4) ふたかみ文化センター開館
- 問62 市民図書館の利用者カードは、何色でしょうか。
(1) オレンジ (2) グリーン (3) ブルー (4) モノトーン
- 問63 香芝市国際交流市民の会「グローバル香芝」は、活動のひとつとして『広報かしばお知らせ版』を市内在住外国人のためにと、翻訳版をホームページ上に公開されています。翻訳されていないのは、どの言語でしょうか。
(1) 英語 (2) ポルトガル語 (3) 中国語 (4) スペイン語
- 問64 香芝市総合福祉センターにはかしば・^{どんづるぼう}屯鶴峯温泉や大広間などがあります。この大広間は、どれほどの広さがあるでしょうか。
(1) 100畳 (2) 140畳 (3) 180畳 (4) 220畳
- 問65 香芝中学校は、昭和24(1949)年の創立以来、男子生徒の丸刈りの規定がありましたが、現在は、廃止されています。この丸刈りの規定が廃止されたのは、いつだったでしょうか。
(1) 昭和45(1970)年 (2) 昭和55(1980)年 (3) 平成5(1993)年 (4) 平成15(2003)年
- 問66 香芝市のし尿処理は、近隣8つの自治体で組織する葛城地区清掃事務組合が行っています。香芝市・大和高田市・御所市・葛城市・広陵町・上牧町・河合町ともう一つは、どの自治体でしょうか。
(1) 王寺町 (2) 五條市 (3) 橿原市 (4) 田原本町
- 問67 香芝市の人口増加率が全国1位になったことがありました。いつだったでしょうか。
(1) 平成5(1993)年 (2) 平成15(2003)年 (3) 平成20(2008)年 (4) 平成25(2013)年
- 問68 香芝市シルバー人材センターの事務所は、下田西二丁目にあります。その建物は、移転した公共施設のものを利用しています。どの公共施設でしょうか。
(1) 保健センター (2) 中央公民館 (3) 老人福祉センター (4) 青少年センター
- 問69 二上山博物館に館内の案内や市内文化財の観光ガイドをされている「香芝市二上山博物館ボランティアガイドの会」がありますが、以前は、別の名称で活動されていた団体でした。何という団体名だったでしょうか。
(1) まほろばアドバイザー (2) ふたかみアドバイザー
(3) ミュージアムアドバイザー (4) ヒストリアアドバイザー
- 問70 香芝市には男女共同参画社会を目指した活動を行い、市に登録している団体がいくつかあります。何団体が登録されているでしょうか。
(1) 3団体 (2) 5団体 (3) 7団体 (4) 9団体
- 問71 モナミホールで行われている香芝市成人式は、ある年から式典の運営を新成人が企画するようになりました。このように、新成人による実行委員会形式が取り入れられたのは、何年からでしょうか。
(1) 昭和57(1982)年 (2) 平成元(1989)年 (3) 平成19(2007)年 (4) 平成27(2015)年

- 問72 平成19(2007)年に香芝市内に集中豪雨があり、ある橋の周辺で道路が崩壊しました。どこの何という橋でしょうか。
- (1) 穴虫のうじろ橋 (2) 上中の外町橋 (3) 高の新橋 (4) 下田の栄橋
- 問73 香芝警察署が開署したのは、いつだったでしょうか。
- (1) 昭和45(1970)年 (2) 昭和60(1985)年 (3) 平成3(1991)年 (4) 平成20(2008)年
- 問74 NTT西日本の電話帳・ハローページに掲載されている香芝市で一番多い苗字は、どれでしょうか。
- (1) 山本 (2) 吉田 (3) 田中 (4) 山田
- 問75 香芝市議会議員の定数は、何人でしょうか。
- (1) 16人 (2) 18人 (3) 20人 (4) 22人
- 問76 昨今、空き家問題がクローズアップされてきていますが、香芝市市内の空き家は、どれほどあるでしょうか。
- (1) 10戸に1戸 (2) 20戸に1戸 (3) 30戸に1戸 (4) 40戸に1戸
- 問77 香芝市内には約30,000戸の住宅がありますが、一戸建て住宅は、何戸あるでしょうか。
- (1) 約20,000戸 (2) 約22,000戸 (3) 約24,000戸 (4) 約26,000戸
- 問78 二上山博物館が姉妹博物館として協力しているのは、どの博物館でしょうか。
- (1) 県立西部原考古博物館(宮崎県) (2) 下関市立考古博物館(山口県)
(3) 七宗町立日本最古の石博物館(岐阜県) (4) みどり市立岩宿博物館(群馬県)
- 問79 一般家庭から出されるごみの排出量は、1日当たりどれくらいでしょうか。
- (1) 約24トン (2) 約34トン (3) 約44トン (4) 約54トン
- 問80 香芝市役所には企画部や総務部など7つの部があります。香芝市役所にないのは、どの部でしょうか。
- (1) 市民環境部 (2) 福祉健康部 (3) 産業建設部 (4) 上下水道部
- 問81 文部科学省の調査によると、全国の中学生の約7%が私立中学校に通っているとされています。それでは、奈良県の中学生は、どれくらい私立中学校に通っているのでしょうか。
- (1) 約6% (2) 約8% (3) 約10% (4) 約12%
- 問82 香芝市の新しい町名に「すみれ野」があります。小学校の校区は、どこでしょうか。
- (1) 五位堂小学校 (2) 真美ヶ丘西小学校 (3) 真美ヶ丘東小学校 (4) 下田小学校
- 問83 香芝市民図書館では、本の読み聞かせや視覚障がい者への対面朗読など、いろいろなボランティア活動をしている団体があります。平成28(2016)年に「えほんたいむボランティア」さんの活動内容が評価され、表彰されました。どのような表彰でしょうか。
- (1) 文化庁長官表彰 (2) 総務大臣表彰 (3) 文部科学大臣表彰 (4) 厚生労働大臣表彰
- 問84 香芝市民図書館の蔵書数は、どれほどでしょうか。
- (1) 約13万冊 (2) 約18万冊 (3) 約23万冊 (4) 約28万冊

問85 市の予算を区分するときを使う名称で最も大きな区分を「款」と呼び、その予算の目的に応じて名称が付けられています。香芝市で農業の振興や中小企業の応援などに充てる予算の款の名称は、どれでしょうか。

- (1) 農業商工費 (2) 農林振興費 (3) 農林商工費 (4) 農工振興費

問86 地方自治体では、一般会計から切り離して独立して行われる経理として、国民健康保険特別会計や土地取得特別会計などが設けられています。香芝市には何種類の特別会計が設けられているのでしょうか。

- (1) 4種類 (2) 5種類 (3) 6種類 (4) 7種類

問87 平成29(2017)年度、香芝市の市立小学校で児童数が最も多いのは、旭ヶ丘小学校ですが、2番目に多いのは、どの小学校でしょうか。

- (1) 五位堂小学校 (2) 下田小学校 (3) 二上小学校 (4) 真美ヶ丘東小学校

問88 香芝市の水道水は、県営水道から送られてきます。どこの浄水場から送られてきているのでしょうか。

- (1) 吉野浄水場 (2) 五條浄水場 (3) 御所浄水場 (4) 下市浄水場

問89 香芝市に小学校は、何校あるのでしょうか。

- (1) 8校 (2) 9校 (3) 10校 (4) 11校

問90 香芝市に自治会は、いくつあるのでしょうか。

- (1) 47自治会 (2) 67自治会 (3) 94自治会 (4) 134自治会

問91 香芝市に市立小学校は、10校あります。では、市立幼稚園は、いくつあるのでしょうか。

- (1) 9園 (2) 10園 (3) 11園 (4) 12園

問92 香芝市で柿や夏みかん、イチゴなどを作っている農家があるのは、どの地区でしょうか。

- (1) 磯壁地区 (2) 鎌田地区 (3) 平野地区 (4) 関屋地区

問93 香芝市内を流れる河川で、一つだけ大阪方面に流れ出る川があります。どの河川でしょうか。

- (1) すがる川 (2) 原川 (3) 西の川 (4) 鳥居川

問94 平成29(2017)年11月末時点で、市内でいちばん多くの戸数を加入対象としているのは、どの自治会でしょうか。

- (1) 下田地区自治会 (2) 五位堂自治会
(3) 真美ヶ丘自治会 (4) 香芝・旭ヶ丘ニュータウン自治会

問95 香芝市議会議員をいちばん多く選出しているのは、どの中学校区でしょうか。

- (1) 香芝中学校区 (2) 香芝東中学校校区 (3) 香芝西中学校区 (4) 香芝北中学校区

問96 香芝市にも多くの外国人が住んでいます。数多く住んでいるのは、韓国・中国の人たちですが、次に多く住んでいるのは、どこの国の人たちでしょうか。

- (1) アメリカ合衆国 (2) ブラジル (3) ベトナム (4) フィリピン

問97 平成29(2017)年に「香芝市地域交流センター」がオープンしました。どこに建てられた施設でしょうか。

- (1) 白鳳台 (2) 旭ヶ丘 (3) 高山台 (4) 真美ヶ丘

問98 平成29(2017)年10月の台風21号がもたらした豪雨により、二上山・岩橋山・葛城山への登山道の一部が崩落しました。香芝市では、二上山の上ノ池横登山口からどれほど進んだ所で最初の崩落が起きているのでしょうか。

- (1) 約150m (2) 約300m (3) 約500m (4) 約1 km

問99 二上山の麓に住む核家族の悲喜こもごもをコメディータッチで描く映画「かぞくわり」の収録が香芝市内でも終わり、平成30(2018)年に公開が予定されています。この家族の父親役を演じたのは、誰でしょうか。

- (1) 西田敏行 (2) 森本レオ (3) 小日向文世^{こひなたふみよ} (4) 武田鉄矢

問100 香芝市ゆかりの作家であり大阪府警の元刑事である二上剛^{ふたがみごう}氏の小説で、講談社主催の「第2回本格ミステリーベテラン新人発掘プロジェクト」を受賞した作品のタイトルは、どれでしょうか。

- (1) 山椒薔薇^{さんしょうばら} (2) 冬薔薇^{ふゆそうび} (3) 黒薔薇^{くろばら} (4) 蔓薔薇^{つるばら}

問1 【答え】(2) 第11代垂仁天皇

解説：『日本書紀』垂仁天皇七年七月七日の条に、「當麻蹶速という剛力がいて天下に敵なしと豪語していた。天皇が群臣に力比べ(角力)する者を求められた。そこで出雲の野見宿禰が召され角力をさせた。たちどころに蹶速は、腰の骨を折られて死んだ。蹶速の領地が没収され宿禰に賜った。腰折田の所以なり。」とあり、腰折田は、兩人決闘の地として今に伝わります。

問2 【答え】(4) 土山古墳(瓦口)

解説：土山古墳は、別所城山2号墳とともに4世紀後半と推定されています。市内のよく知られる狐井城山古墳は、6世紀初頭、平野塚穴山古墳は、7世紀後半の築造と推定されています。

問3 【答え】(2) 平群 鮪

解説：『日本書紀』には、影媛に恋をした皇太子がすでに恋仲であった平群鮪に恥をかかせられたと激怒し、臣下の大伴金村に命じて数千の兵を鮪のもとに差し向け、乃楽山にて影媛の眼前で殺したとあります。しかし『古事記』では、この逸話は、叔父の顕宗天皇のものになっています。

問4 【答え】(2) 18歳

解説：武烈天皇は、崩御時18歳とされています。顕宗2(492)年の生誕とされ、仁賢天皇が38歳の時に生まれ11歳で即位し、18歳で亡くなったとされています。

問5 【答え】(4) 約3.8m四方

解説：この心礎からは、耳環や水晶玉、ガラス玉などの舍利莊嚴具も見つかり、全国で初めて塔基壇の構築過程が判明するなど、貴重な遺跡であることから平成14(2002)年に国史跡に指定されました。

問6 【答え】(3) 般若寺と般若尼寺

解説：7世紀前半に僧寺の造営が始まり、7世紀後半に尼寺が造営されたと考えられています。寺院名は、飛鳥池遺跡(明日香村)から出土した木簡から般若寺と般若尼寺と考えられています。

問7 【答え】(2) 鳥谷口古墳

解説：『万葉集』大伯皇女の詞書に「大津皇子の屍を葛城の二上山に移し葬る時…」とあることから、亡骸は、二上山に移葬されたと考えられています。二上山の麓、葛城市染野に鳥谷口古墳と呼ばれる古墳があります。埋葬者が判明せず、移葬されたような小さな棺があることから、ここが大津皇子の本当の墓ではないかという説があります。

問8 【答え】(3) こんぴら祭(下田東・金比羅宮)

解説：板仏は、7月9日に、宵宮祭は、9月9日に毎年行われます。戎祭りは、毎年1月に行われますが、秋祭りもあります。

問9 【答え】(3) 『続日本紀』

解説：天平15(743)年9月13日に官奴(役所の作業員)であった裴太という人が初めて「大坂沙」で玉を磨いた功によって大友史の姓を賜ったと記されています。

問10 【答え】(4) 片岡の この向つ峰に 椎^{しい}蒔かば 今年の夏の 陰にならむか

解説：この歌は、『万葉集』巻7-1099にあり、作者は、不詳です。「片岡のこの向この峯に椎を蒔いたなら、今年の夏は、木陰になっているだろうか…」(1) は、婆羅門僧正^{ぼらもんそうじょう}が聖徳太子の歌として引用した『拾遺和歌集』。 (2) は、凡河内躬恒^{おほしこうちのみつね}の歌で『古今和歌集』。 (3) は、藤原長能^{ながよし}の歌で『後拾遺和歌集』です。

問11 【答え】(2) 曹洞宗

解説：宗教法人として登録されている香芝市内に現存する寺院は、浄土宗14寺・浄土真宗本願寺派13寺・真宗大谷派5寺・融通念仏宗4寺・真宗仏光寺派2寺・高野山真言宗2寺・日蓮宗2寺・黄檗宗1寺・妙見宗1寺・単立1寺の45寺あります。因みに神社本庁傘下の神社が20社、その他神社が1社、天理教教会が10あります。

問12 【答え】(3) 恵

解説：恵心僧都源信の誕生院との伝説から、恵心堂の屋根瓦に「恵」の字を使ったのでしょうか。地元の人たちは、恵心僧都を親しみと尊敬を込めて「えーしんさん」と呼んでいるそうです。

問13 【答え】(3) 下田東遺跡

解説：この木簡には、「小支石」による「田蒔」の勤務日程、「年魚(鮎)」の売却記録、「和世(早稲)種」、「小須流女^{こするめ}」(品種名)の種蒔き時期、習書「臨…」、「伊福部連豊足解^{いふきべのむらじとよたり}」の下書きがありました。当時の役人が書いたものと推測されます。

問14 【答え】(3) 鹿島神社(下田西)^{かしま}

解説：鹿島神社の『結鎮座文書』は、奈良県の指定文化財に、「渡御行事」は、香芝市の指定文化財になっています。

問15 【答え】(1) 箸尾氏

解説：東軍(細川勝元・畠山政長)方には、「筒井之一門」として成身院光宣^{じょうしんいんこうせん}・十市氏^{といち}・箸尾氏・布施氏・高田氏・片岡氏などが、西軍(山名宗全・畠山義就^{よしひろ})方には、「越智之一門」として吐田氏^{はんだ}・楢原氏・小泉氏・万歳氏・岡氏などが加わりました。戦は、寝返りなどもあり初戦は、西軍が勝利しましたが、応仁の乱そのものは、最終的には、西軍の解体で終息します。

問16 【答え】(3) カタマ池

解説：この池は、磯壁の南の外れにある小さな池で、肩もえ池・肩身池・肩間池とも呼ばれています。地藏尊は、檀家の人たちによって寺の本堂に持ち帰り、子守りの地藏さんとして信仰されたといえます。

問17 【答え】(3) 阿日寺(良福寺)

解説：『北葛城郡史』に、「岡彌次郎周防守二人の墓」として「大字良福寺墓地阿日寺境外ノ墓域内ニ在リ五輪塔ニ基ヲ存ス岡彌次郎ハ天正八年庚申歳十一月二十八日卒ス法諡實樹院春利宗信士」、「周防守ハ慶長七年三月十五日卒ス法諡高山院殿前周州雲峰宗松信士ト云フ狐井ノ城主タリ」とありますが五輪塔は、現存していません。しかし、阿日寺の過去帳には二人の名があり、今も供養されているそうです。

問18 【答え】(1) 石神がイソカベに転訛した。

解説：磯壁は、室町期から見える地名で、字イシガエモト付近や磯壁の金剛砂採掘跡地から多くの御神体に使われる円石が伴出することから、「石神」イシノカミ→イソノカミ→イソノカベ→イソカベに転訛したとする説が有力です。天理市の石上神宮も同義です。また、「イ」は、接頭語。「ソカベ」は、曾我部氏ではないかとも考えられています。

問19 【答え】(4) 本多忠平

解説：郡山藩主だけでなく、天領であった時の代官を含め(1)～(3)の藩主の記録などからは、池床に年貢をかけた様子はみられません。本多忠平は、藩の財政改革のために松波勘十郎という役人を登用します。勘十郎は、過酷な年貢を課し、困った農民たちが郡山藩へ大挙して減免を願い出た記録があることから、忠平の時代ではないかと推測されます。

問20 【答え】(1) 妙覚寺

解説：この梵鐘は、貞享2(1685)年に製作され、冶工は、和州葛下郡五位堂村の津田大和かつげぐん大掾藤原定次だいじょう作とあります。妙覚寺は、宇陀市(旧：菟田野町岩崎地区)にある宇陀市内唯一の真宗大谷派の寺院です。地名研究家の池田末則氏が妙覚寺に誤って返還され、鐘楼に吊られているのを発見し、阿日寺に返されました。

問21 【答え】(4) 寂照寺(鎌田)

解説：『冥途の飛脚』のにのくち新口(現：橿原市新口町)の段に、「ヲ、それは易い事。一ひとかえ返り行て来ませふ。が、京のお寺が鎌田村の道場へお下り。先から直に参られたも知れまい。それではよっぽどわしが戻りも遅い。コレ女中様、飯がしかけてあるほどに、出来損なはぬ様に、差しくべて下んせや と、たすき襷外して出て行く。」の件くだりがあり、寂照寺にもその伝説が伝わっています。

問22 【答え】(1) 享保年間(1716-1736)

解説：慶安3(1650)年の古文書には、中筋・今市・高・西村の名が見え、その後、中筋村から上里村が旧名を用いて分離、西村が今泉村と改称し、今市村も同じ郡内の南今市村と区別するため、享保年間(300年ほど前)に北今市村を称するようになったと考えられています。

問23 【答え】(4) 鎌田村

解説：伊能忠敬(1745-1818)が大和を訪れたのは、文化5(1816)年の第6次(全10回)調査時で、四国・大和路を11月28日から12月23日にかけて歩いています。香芝市内を通った時は、王寺村から当麻寺まで歩き、良福寺村から西(当麻寺方面)に向かったため、鎌田村を通りませんでした。

問24 【答え】(4) 柳沢保申やすのぶ

解説：郡山藩は、元和元(1615)年から明治4(1871)年まで大和国の他、河内国と近江国の一部を治めた譜代大名で、藩庁は、郡山城にありました。水野家→松平家→本多家→松平家→本多家→柳沢家と変遷し、柳沢保申は、6代目で最後の藩主でした。また、明治の初め頃、保申の提唱で南都銀行の前身である国立六十八銀行が設立されました。

問25 【答え】(1) 21村

解説：五位堂村、瓦口村、良福寺村、鎌田村、別所村(以上、旧五位堂村)。下田村、逢坂村、狐井村、北今市村、五ヶ所村(以上、旧下田村)。穴虫村、関屋村、畑村、田尻村、磯壁村(以上、旧二上村)。上里村、中筋村、高村、たか畠田村、はたけだ平野村、今泉村(以上、旧志都美村)の21の村々がありました。

問26 【答え】(3) 2,610人

解説：香芝からは1,020人、大阪側からは1,200人、当麻から300人、その他90人と記録には残っています。

問27 【答え】(3) 明治中期

解説：関屋は、明治維新の頃に過半数の人々が大阪に転住するという大変な時期がありました。また、田尻峠が明治の初め頃に道路が拡張されて関屋峠を越える人々も徐々に減り、はたご旅籠や人力車業が明治14(1881)年頃から衰退し始めました。離村者が増えた関屋でしたが、昭和19(1944)年から反転、人口増加が続いていきました。

問28 【答え】(1) 小川文五郎

解説：柳ヶ池は、鎌田地区の最南西にあり、明治20(1887)年から2年をかけて作られました。彼は、明治22(1889)年に五位堂村の初代村長になっています。農業佐平は、下田の人で、今池(今池親水公園)の堤防を修繕することに力を注ぎました。税所篤は、奈良県の大阪府からの独立運動に深く関わり、知事就任後は、奈良公園の拡張に尽力しました。津田五郎兵衛は、五位堂^{いもじ}鋳物師です。

問29 【答え】(4) 明治21(1888)年

解説：今から400年ほど前、上里村は、村高二千石を超える大村でしたが江戸中期に分村し、上里村・中筋村・畠田村・西村(今泉村)・高村・今市村(北今市村)に分村しましたが、財政困窮を理由に明治21年に中筋村との合併を願い出て上中村となりました。

問30 【答え】(4) 香芝駅

解説：明治24(1891)年、大阪鉄道(初代)が王寺駅から高田駅まで延伸開業した時に下田駅が開業しました。また、昭和2(1927)年に関屋駅・二上駅・大軌下田駅(現在の近鉄下田駅)・五位堂駅が開業し、昭和4(1929)年に二上山駅が開業しました。昭和30(1955)年に志都美駅、平成16(2004)年にJR五位堂駅が開業しました。平成16(2004)年3月に下田駅は、香芝駅に改称しました。

問31 【答え】(2) 広瀬郡

解説：広瀬郡には今の広陵町、河合町及び大和高田市の一部が属していました。北葛城郡は、王寺町、広陵町、上牧町及び河合町が属する郡として現在もあります。葛上郡は、このとき忍海郡と統合して南葛城郡となり、廃止されました。賀美郡と片岡郡は、架空の郡ですが、和名抄(平安中期)に香芝近辺の七郷の一つに「賀美郷」(志都美あたり)が見え、志都美から上牧町、王寺町あたりは、「片岡」と呼ばれていました。

問32 【答え】(4) 安川亀太郎

解説：安川亀太郎(1857~1925)は、穴虫の人です。安川氏は、明治の初め頃から金剛砂を「赤い砂」と言って袋に入れ、かついで北陸・山陰地方まで売って歩きました。金剛砂は、硬いものや木を磨くのに最適で、全国に知られるようになり、彼は、「金剛砂王」と呼ばれました。

問33 【答え】(1) 絹糸

解説：養蚕業は、^{かいこ}蚕を育てて、その「繭」^{まゆ}の生糸から絹糸を作る産業です。その頃は、農家が桑を植えてその葉を蚕のエサにしていました。木綿の原材は、熱帯又は、亜熱帯地域のワタという植物です。

問34 【答え】(4) 高田銀行

解説：昭和9(1934)年6月1日に株式会社六十八銀行、株式会社吉野銀行、株式会社八木銀行及び株式会社御所銀行が合併して株式会社南都銀行が誕生しました。旧六十八銀行は、明治30(1897)年まで国立の銀行でした。

問35 【答え】(4) 今泉

解説：この大刀は、永く今泉の個人により丁寧に保管されていたものが、平成7(1995)年に二上山博物館に寄贈されました。一緒に出土した土器類から、飛鳥時代(7世紀中頃)に製作されたものと考えられ、「伝今泉出土銀装大刀」として、香芝市の指定文化財となっています。

問36 【答え】(3) 昭和22(1947)年

解説：昭和22(1947)年に勅令「消防団令」が施行され、香芝町になる前の4村それぞれに消防団が組織されました。

問37 【答え】(1) 原川

解説：市内には、設問の河川のほか、滝川・竹田川・初田川・尼寺川・すがる川があります。香芝市内を流れる原川の約500メートル間において、豪雨時の溢水に特に警戒が必要とされています。

問38 【答え】(1) 約15,000人

解説：奈良県に提出された町村合併申請書によると、人口15,551人。世帯数は、2,951世帯でした。

問39 【答え】(1) 田中國太郎

解説：合併前の旧下田村村長の田中國太郎氏が初代町長となりました。これは、選挙ではなく合併4村（下田村・五位堂村・二上村・志都美村）の合意によって決められました。

問40 【答え】(1) 4校

解説：五位堂小学校、下田小学校、二上小学校、志都美小学校の4校がありました。二上小学校には関屋分校がありましたが、昭和46(1971)年に関屋小学校として独立しました。

問41 【答え】(2) 昭和35(1960)年

解説：ごみ収集業務が行われるまでは、家庭のごみは、庭先で燃やしたり家の敷地や畑などに埋めたりしていました。また、昭和40年(1970)年からごみ収集車にオルゴールが搭載されました。

問42 【答え】(4) 約800戸

解説：平成25(2013)年の総務省の調査によると、香芝市内には、昭和35年以前に建てられた家屋が約800戸ありました。

問43 【答え】(2) 昭和46(1971)年

解説：明治5(1872)年の学制公布により明治7(1874)年に市内数十の小学校設置の一つとして関屋小学校も開校しましたが、明治21(1888)年に穴虫小学校（現：二上小学校）の分校となりました。昭和40年代からの急速な住宅開発（せきや青葉台・関屋近鉄住宅地）により、昭和46(1971)年4月に関屋小学校として独立しました。

問44 【答え】(2) 毎月15日

解説：交通事故から子どもたちを守ることを目的に、各校区に交通安全母の会が組織されています。また、昭和48(1973)年に香芝町交通安全対策協議会が発足し、毎月15日を「交通安全の日」とし、地域の人たちによる通学通園時の子どもたちを見守る活動が行われています。

問45 【答え】(4) 関屋北二丁目

解説：住居表示は、住居表示に関する法律に基づいて、道路に囲まれた部分を「街区」として番号を振り、住居の主な入口の位置によって「住居番号」を付け、「○（街区番号）番○（住居番号）号」と表します。これが適用されている地区は、下田西一丁目～三丁目、下田東二丁目と四丁目、藤山一丁目、関屋北二丁目～七丁目、磯壁五丁目、畑七丁目、真美ヶ丘一丁目～七丁目です。それ以外の地区は、地番で表します。

問46 【答え】(4) 北部地域体育館

解説：昭和53(1978)年に上中地区にある香芝健民運動場の南側に建設されました。地域体育館は、1館だけです。

問47 【答え】(1) 関屋北地区

解説：区画整理事業は、区域内を道路・公園・緑地・宅地等に再区画して整然とさせて住宅開発をする事業です。香芝市内では、西真美・真美ヶ丘・白鳳台・高山台・旭ヶ丘・すみれ野の順に整理されました。

問48 【答え】(4) 大仙陵古墳（伝 仁徳天皇陵）

解説：古美術写真家・古代文化研究者の小川光三氏こうぞうが命名した「太陽の道」上には、この他に室生寺（宇陀市）、三輪山、箸墓古墳はしはか（桜井市）、須賀神社、菅原神社（田原本町）、日大御神社ひのおおみ（広陵町）、大鳥神社（堺市）等があります。香芝市では、磯壁の稲荷社（長山神社）から穴虫峠を通ります。

問49 【答え】(3) 昭和56(1981)年

解説：保健センターは、地域保健法の規定に基づき対人サービスを基本とした健康づくりの場として設置されました。当時の住民向け事業は、11種でしたが、現在の保健センターでは、健(検)診や予防接種など40以上の事業が行われています。

問50 【答え】(1) 昭和56(1981)年

解説：西名阪自動車道が開通した当時（昭和44(1969)年）は、距離別の料金でした。それを均一料金制にしたため、香芝で料金を徴収する必要がなくなり、廃止されました。

問51 【答え】(2) 昭和57(1982)年

解説：五位堂検修車庫は、五位堂という名前が付いていますが、狐井にあります。それまで高安・玉川・古市の3つの工場で行っていた両の全般検査・重要部検査について統廃合する形で新設されました。

問52 【答え】(3) 昭和57(1982)年

解説：J R和歌山線が電化されたことに伴い、天王寺行きの関西本線乗り入れ快速電車のみが冷房車となりました。同時に、それまで糞便を線路上に撒き散らしていたトイレ付き車両も姿を消しました。（それまでは、「列車の停車中の便所のご利用は、お控えください。」の車内放送がされていました。）

問53 【答え】(4) わかくさ国体

解説：「駆けよ大和路 はばたけ未来」をスローガンに奈良県で夏季・秋季国民体育大会が開かれ、香芝町では、バレーボール（成年男女9人制）が総合体育館で行われました。

問54 【答え】(3) 昭和60(1985)年

解説：香芝市の市の花・スミレと市の木・樫（カシ）は、香芝町だった昭和60(1985)年に制定されました。香芝市になってからもそのまま引継がれています。

問55 【答え】(2) 斎藤 努

解説：佐々木美絵さんは、昭和47(1972)年から毎西放送の看板番組「アップダウンクイズ」のレギュラーアシスタントとして活躍されました。同局のアナウンサー斎藤努さんと結婚し、現在は、夫と同じ羽衣国際大学で、放送メディア・アナウンスや話し方の講義をされているそうです。

問56 【答え】(1) 大字五位堂

解説：真美ヶ丘一丁目～七丁目は、昭和61(1986)5月6日に誕生しました。当時区域に編入された地区は、大字鎌田（飛地）・大字下田・大字五ヶ所・大字別所・大字瓦口と、広陵町からは、大字安部・大字三吉みつよし・大字疋相ひきそのそれぞれ一部でした。

問57 【答え】(1) 鎌田

解説：香芝市内には、このように地区外にぼつんと離れた飛地を持つ区域があります。事情はそれぞれ違いますが、鎌田の南端のため池が五位堂であったり、関屋方面に上中や高が、関屋駅南側に田尻が、白鳳台に尼寺が、ごみ焼却場「美濃園」^{みのえん}の敷地に畠田の飛地があったりします。

問58 【答え】(1) 中国

解説：金剛砂の採掘は、資源が枯渇してきた上に、金剛砂を選別するときの排水が当時社会問題にもなっていた公害問題も絡み、休止に追い込まれていきました。今は、主に中国からの輸入でアルミナ（酸化アルミニウム）が研磨材の原材料として利用されています。

問59 【答え】(1) 昭和63(1988)年

解説：昭和63(1988)年11月19日に届けられた出生届の新生児がちょうど5万人目でした。

問60 【答え】(4) 旭ヶ丘小学校

解説：旭ヶ丘小学校は、平成3(1991)年に香芝市となった後の平成7(1995)年に開校しました。鎌田小学校は、昭和57(1982)年に、真美ヶ丘東小学校は、昭和58(1983)年に、真美ヶ丘西小学校は、昭和63(1988)年にそれぞれ開校しました。

問61 【答え】(3) 大字の廃止

解説：大字五位堂（5文字の字の名称）を五位堂（3文字の町名）の他、20の字の名称から大字を取った町名に変更しました。カッシーと市民憲章は、市制施行10周年時に、また、ふたかみ文化センターは、平成4(1992)年にオープンしました。

問62 【答え】(2) グリーン

解説：図書館利用者カードは、香芝市のシンボルカラーであるグリーンの色で作られています。

問63 【答え】(2) ポルトガル語

解説：グローバル香芝は、平成6(1994)年に結成された国際交流ボランティア団体です。セミナー企画部会、広報部会、日本語クラブ、ホストファミリー部会の4部会と実行委員会で組織し、活動されています。お知らせ版翻訳版は、広報部会の活動で、結成当初から取り組まれています。

<http://global-kashiba.mahoroba.club/>

問64 【答え】(2) 140畳

解説：香芝市総合福祉センターには、これらの他に多目的室、視聴覚室、調理実習室、健康増進室、ボランティアセンターなどがあり、ふれあいやくつろぎの場として多くの人々に利用されています。

問65 【答え】(4) 平成15(2003)年

解説：香芝中学校では、昭和40(1960)年代から毎年のように頭髪問題について生徒会やPTAから疑問の声が上がっていました。平成8(1996)年に「丸刈りの生徒心得は、法的効果を生じない」という最高裁判決もあり、奈良県内で最後まで残っていた丸刈りの規定は、廃止されました。

問66 【答え】(1) 王寺町

解説：昭和56(1981)年までは、大和高田市の緑樹園で処理されていました。その後は、海洋投棄していましたが、平成15(2003)年4月から御所市にある葛城地区清掃事務組合アクアセンターで処理されています。

問67 【答え】(2) 平成15(2003)年

解説：大阪の中心部まで30分あまりで行ける鉄道、道路の交通の便の良さから、ベッドタウンとしての人気上昇しました。市内では、大規模な新興住宅地の開発が続き、全国的に高齢化が進む中、香芝市は、まだまだ伸び盛りの「若さ」を示しています。

問68 【答え】(2) 中央公民館

解説：香芝市シルバー人材センターは、平成12(2000)年の設立時には、JR香芝駅北西にあった旧老人福祉センターの建物に事務所がありましたが、平成17(2005)年7月に旧香芝町中央公民館に移転し、現在に至っています。隣接の旧保健センターには、平成25(2013)年4月に青少年センターが移転しました。

問69 【答え】(3) ミュージアムアドバイザー

解説：「ミュージアムアドバイザー」は、平成7年に結成され、二上山博物館のガイドをされていました。平成17年に博物館からの要請もあり、活動範囲を拡大して地域文化の活用と活性化を図ることを目的に「香芝市二上山博物館ボランティアガイドの会」と名称を変え、館内の案内のほか、市内文化財の観光ガイドもされています。

問70 【答え】(3) 7団体

解説：かしば女性会議、香芝市ペタンク協会、香芝市生涯学習ボランティア連絡協議会、香芝^{てんしょう}天衝太鼓、(社)ガールスカウト日本連盟奈良県第46団、香芝市母子寡婦^{かふ}福祉会、かしば・ヒューマン・ウイングの7団体が登録されています。市では、これらの団体やグループの皆さんと、交流や情報交換などを行い、一緒に男女共同参画についての活動を広げています

問71 【答え】(3) 平成19(2007)年

解説：成人式の運営を新成人自身が企画し、思い出深いものにしてもらおうと、市教育委員会の担当者から提案がありました。この年から、新成人の公募委員による実行委員会形式になりました。

問72 【答え】(4) 下田の栄橋

解説：7月17日、降り続いた大雨のためにこの日の深夜、葛下川の水が溢れて栄橋から狐井へ通じる市道が約50メートルにわたって崩れ、電柱2本がガードレールごと川に落ちました。

問73 【答え】(4) 平成20(2008)年

解説：香芝警察署は、2008(平成20)年3月に開署しました。奈良県には、警察署が12署ありますが、香芝警察署が最も新しい警察署です。

問74 【答え】(3) 田中

解説：平成12(2000)年及び平成24(2012)年のいずれの電話帳でも田中姓が他を大きく引き離し、いちばん多い苗字でした。因みに全国で1位2位の佐藤姓と鈴木姓は、香芝では平凡な数でした。また、地区によって突出した苗字もありました。(狐井＝赤土・田中、磯壁＝高谷・上田、畑＝高垣・高岡、穴虫＝吉田・田中 等)

問75 【答え】(1) 16人

解説：香芝町の時代から長い間20人でしたが、平成21(2009)年から18人に、平成25(2013)年には、16人に定数が削減されました。

問76 【答え】(1) 10戸に1戸

解説：平成25(2013)年の総務省の調査によると、香芝市の全住宅30,490戸に対し、空き家は、3,020戸で9.9%となっています。奈良県内の市において、20%を超えているのが大和高田市の25.7%と御所市の22.1%で、10%を切っているのは、生駒市の9.9%、葛城市の9.3%でした。

問77 【答え】(1) 約20,000戸

解説：平成25(2013)年の総務省の調査によると、香芝市内には、19,600戸が一戸建て住宅でした。

問78 【答え】(4) みどり市立岩宿博物館（群馬県）

解説：平成26(2014)年10月から、旧石器文化における関西と関東の学習のよりどころとして、二上山博物館と岩宿博物館が連携協力協定を締結しました。

問79 【答え】(4) 約54トン

解説：平成26(2014)年度の一般家庭から排出されたごみ量は、1日当たり54.2トンでした。これは、1世帯当たり約1.8kgですが、10年前は、約2.3kgであったので、1日当たり約500gのごみの減量化に努めていただいたこととなります。

問80 【答え】(3) 産業建設部

解説：企画部・総務部・市民環境部・福祉健康部・都市創造部・上下水道部・教育部の7つの部です。産業建設部は、以前ありましたが、現在は、都市創造部に統合されています。

問81 【答え】(4) 約12%

解説：文部科学省の「学校基本調査(2015)」によると、奈良県の中学生の11.8%が私立中学校に通っていました。都道府県では、多い順に東京都23.9%、高知県17.9%、京都府12.1%で、奈良県は、全国で4番目に私立中学校に通っている中学生が多い調査結果となりました。

問82 【答え】(2) 真美ヶ丘西小学校

解説：平成27(2015)年6月に、すみれ野が誕生しました。すみれ野の中央から徒歩で五位堂小学校まで約1.3km、真美ヶ丘西小学校まで約1.2km、真美ヶ丘東小学校まで1.3km、下田小学校まで1.5kmとほぼ等距離ですが、真美ヶ丘西小学校の校区になりました。

問83 【答え】(3) 文部科学大臣表彰

解説：市民図書館ボランティア団体の「えほんたいむボランティア」さんは、赤ちゃんと一緒にもっと絵本を楽しめるように、図書館職員とともに絵本の読み聞かせ、手遊びなどが行われています。この活動が子どもの読書活動優秀実践団体として表彰されました。

問84 【答え】(3) 約23万冊

解説：平成28(2016)年現在、図書・雑誌・視聴覚資料合わせて232,960冊（部）備え付けられています。

問85 【答え】(3) 農林商工費

解説：香芝市の歳出予算編成における「款」は、議会費・総務費・民生費・衛生費・農林商工費・土木費・消防費・教育費・公債費・諸支出金・予備費の11に分類されています。

問86 【答え】(3) 6種類

解説：香芝市の特別会計には、法律で定められている「国民健康保険特別会計」「後期高齢者医療特別会計」「介護保険特別会計」と香芝市の条例により設置されている「土地取得特別会計」「下水道事業特別会計」「財産区財産特別会計」があります。

問87 【答え】(3) 二上小学校

解説：児童数が多い順に、旭ヶ丘小学校1,000(1,303)名、二上小学校833(783)名、下田小学校748(760)名、真美ヶ丘東小学校555(608)名、五位堂小学校435(508)名、三和小学校426(364)名、関屋小学校404(361)名、真美ヶ丘西小学校387(351)名、志都美小学校301(360)名、鎌田小学校219(208)名となっています。()内は、平成24(2012)年度の児童数です。

問88 【答え】(3) 御所浄水場

解説：香芝市の水道水の元となる水は、吉野川の水です。この水が導水トンネルを通過して御所浄水場へ送られ、そこから送水管を通過して香芝市にある貯水タンクまで送られてきます。

問89 【答え】(4) 11校

解説：五位堂・下田・二上・志都美・関屋・三和・鎌田・真美ヶ丘東・真美ヶ丘西・旭ヶ丘の10校の市立小学校の他、私立智辯学園奈良カレッジ小学部があります。

問90 【答え】(1) 47自治会

解説：香芝市の自治会数は、意外と少なく47自治会しか組織されていません。隣の大和高田市には、137の自治会があります。どうも自治会の単位の捉え方が自治体によって違うようです。奈良市では、1,000以上の自治会が組織されています。

問91 【答え】(1) 9園

解説：下田・五位堂・二上・志都美・関屋・三和・鎌田・真美ヶ丘東・旭ヶ丘の9園ですが、下田幼稚園と鎌田幼稚園は、認定こども園となっています。認定こども園は、保育園としても機能する幼稚園です。

問92 【答え】(3) 平野地区

解説：磯壁や鎌田地区でも、以前は、菊などの花作りが盛んでしたが、今ではほとんど作られていません。

問93 【答え】(2) 原川

解説：原川は、関屋地区から大阪府柏原市国分地区を経て大和川に合流する大和川水系の一級河川です。

問94 【答え】(4) 香芝・旭ヶ丘ニュータウン自治会

解説：香芝・旭ヶ丘ニュータウン自治会(2,316世帯)、五位堂自治会(2,242世帯)、下田地区自治会(1,915世帯)、真美ヶ丘自治会(1,808世帯)の順となっています。

問95 【答え】(1) 香芝中学校区

解説：香芝中学校区に5人、香芝東中学校校区に3人、香芝西中学校校区に4人、香芝北中学校校区に4人の議員がいます。

問96 【答え】(4) フィリピン

解説：香芝市には、約500人の外国人が登録されています。そのうち韓国人が243人、中国人(台湾を含む)が113人います。次に多いのがフィリピン人で30人、ベトナム人18人、ブラジル人15人、アメリカ人9人と続きます。

問97 【答え】(1) 白鳳台

解説：白鳳台集会所の南西に隣接して建設されました。地域の人たちの交流の場として、また災害時には、災害応急対策の拠点として機能させる目的もあります。

問98 【答え】(1) 約150m

解説：二上山への登山道が一時であれ通行禁止にされたのは、昭和49(1974)年の山火事以来でしょう。崩落した香芝側からの入山口から右側の急斜面の上は、奇しくも岡城跡がある場所でした。

問99 【答え】(3) 小日向文世^{こひなたふみよ}

解説：二上山を中心に、香芝市・葛城市・大和高田市・御所市・広陵町・王寺町・河合町・上牧町が舞台となり、地域のあり方や家族の役割という普遍的なテーマをもとに、実際の住宅街で起こりうる様々な出来事を集約し、コメディータッチで描かれています。

問100 【答え】(3) 黒薔薇^{くろばら}

解説：著者の二上剛氏は、元大阪府警暴力犯担当刑事という経歴で、退職後に本作品を執筆されました。また「黒薔薇 刑事課強行犯係 神木恭子」というタイトルでテレビドラマ化され、貫地谷しほりさん主演で平成29(2017)年12月16日にテレビ朝日系列で放映されました。

香芝町が誕生するまでの変遷

年	月 (日)	出来事
慶応4(1868)年	1月21日	大和鎮台を設置
	2月1日	大和鎮台を大和国鎮撫総督府と改称 大和国内の旧幕府領に対しての行政・司法・軍事機関
	5月19日	高取藩預かり所、奈良奉行所及び133力所の代官所、旗本、神社、寺院社家管理領等を奉還する。 三治の制(府・藩・県) 大和国鎮撫総督府を廃し、「奈良県」を設置 旧幕府領と旧旗本領、寺社朱印地 諸藩領はそのままで県と藩が併存 郡山(15.1万石)・高取(2.5万石)・小泉(1.1万石)・櫛羅(1万石)・芝村(1万石)・柳生(1万石)・柳本(1万石)・田原本藩(1万石) 及び津・久居・和歌山・壬生・大多喜の各藩 藩には徴税権と軍事権が付与されていた。
		逢坂村(幕府領、瓦口村・別所村(旗本水野家の知行地)→奈良県 鎌田村→壬生藩(梁野村・野口村・池田村) これ以外の村→郡山藩
	7月29日	「奈良県」を「奈良府」に改称
	9月8日	明治と改元(慶応4年1月1日に遡って適用。一世一元の制・即日改元)
	明治2(1869)年	6月17日
	7月17日	奈良府を奈良県と改称
明治3(1870)年	2月27日	五條県を新設 宇智・吉野両郡と河内国石川郡・錦部郡、紀伊国伊都郡
明治4(1871)年	1月	寺社領を没収し、府・藩・県の管轄とする。
	7月14日	廃藩置県(府・県 二治の制)の詔書：3府302県 奈良・五條、郡山・高取・小泉・櫛羅・芝村・柳生・柳本・田原本の大和八藩及び津・久居・和歌山・壬生・大多喜の各藩も県となる。
	11月22日	全国の県を改廃。3府72県とし府知事・県令を設置。第1次府県統合 奈良県、五條県と旧藩の13諸県を廃止し、奈良県を設置 県内を添上・添下・平群・山辺・式上・式下・十市・宇陀・高市・広瀬・葛上・葛下・忍海・宇智・吉野の15郡に分け統轄する。
明治5(1872)年	5月	奈良県を15大区(旧15郡)199小区とする。小区は千石程度とする。 葛下郡は第10大区16小区となる。 奈良県管轄の香芝市域 ・第10大区2小区 北今市・今泉・平野・高・上里・中筋・畠田村 ・第10大区4小区 逢坂・穴虫・関屋・田尻村 ・第10大区5小区 磯壁・畑村 ・第10大区6小区 別所・瓦口・狐井村 ・(不詳)五位堂・良福寺・鎌田・下田・五ヶ所村
	11月～	大区の事務所として会議所を設ける。
明治7(1874)年	10月	会議所条例により10大区に編成 香芝を含む葛下郡の北部・平群郡・広瀬郡・式下郡は龍田の第3会議所(第3大区)に属する。 奈良県管轄の香芝市域 ・第3大区9小区 別所・瓦口・五位堂・良福寺・鎌田・狐井・下田・五ヶ所村 ・第3大区10小区 北今市・逢坂・穴虫・関屋・田尻・磯壁・畑・今泉・平野村 ・第3大区11小区 高・上里・中筋・畠田村
	4月18日	府県統合政策により奈良県が堺県に合併される。
明治9(1876)年	12月	堺県管轄・大和国は5大区24小区に改編 ・大和国第2大区4小区 北今市・今泉・平野・高・上里・中筋・畠田村 ・大和国第4大区1小区 別所・瓦口・五位堂・良福寺・鎌田・狐井・下田・五ヶ所・逢坂・穴虫・関屋・田尻・磯壁・畑村
	7月22日	郡区町村編成法を公布 地方行政区の再編成 府・県(府知事・県令)一郡(郡長)一町村(戸長)の行政組織
明治13(1880)年	4月	大和に奈良町・三輪町・御所町・五條町に郡役所を設置

		御所町に高市・葛上・葛下・忍海郡の郡役所部を置き、7つの連合戸長役場を配置 香芝全域の村は、王寺・藤井・上牧・下牧・加守村とともに第3連合戸長役場(葛下郡のうち22村)に編成される。下田村真宗寺内に戸長役場を開設
明治14(1881)年	2月7日	堺県が廃止され大阪府に合併 大阪府は摂津・河内・和泉を重視する政策を展開 大阪府管轄 ・下田村・五ヶ所村連合戸長役場 ・各村戸長役場
明治17(1884)年	7月1日	区町村会法(明治13年制定)の改正により戸長役場の管理区域拡大 高市・葛上・葛下・忍海郡の郡役所部内に47の戸長役場を置く。
明治17(1884)年 ～ 明治21(1888)年		大阪府管轄 ・第39戸長役場 五位堂村、瓦口村、良福寺村、別所村、鎌田村 ・第41戸長役場 穴虫村、関屋村、畑村、田尻村、磯壁村 ・第42戸長役場 下田村、北今市村、逢坂(坂)村、五ヶ所村、狐井村 ・第44戸長役場 上里村、中筋村、高村、畠田村、平野村、今泉村 番号での呼称は不評で、やがて戸長役場の置かれた村名をとって、それぞれ五位堂村外4か村戸長役場、穴虫村外4か村戸長役場、下田村外4か村戸長役場、上中村外4か村戸長役場と呼ぶようになる。
明治20(1887)年	11月4日	奈良県が大阪府から独立
	12月1日	奈良県が開設される。
		この年か翌年かに上里村と中筋村が合併。上中村となる。
明治21(1888)年	4月25日	市制・町村制公布
明治22年(1889)	4月1日	市制・町村制の施行 大々的な町村合併が行われ、奈良県では183町1306村が10町*152村(142村2組合村)となり、葛下郡は75村が1町13村1組合村となる。 合併の基準 500戸程度、地形や人情を参考にし、町村名は歴史的なものをうい民情に配慮する。 *10町(奈良町、高田町、郡山町、八木町、今井町、五條町、御所町、田原本町、松山町、上市町) 葛下郡五位堂村、瓦口村、良福寺村、別所村、鎌田村 →五位堂村(大字五位堂/初代村長・小川文五郎) 葛下郡穴虫村、関屋村、畑村、田尻村、磯壁村 →二上村(大字畑/初代村長・吉田久一) 葛下郡下田村、北今市村、逢坂村、五ヶ所村、狐井村 →下田村(大字下田/初代村長・西島伊一郎) 葛下郡上中村、高村、畠田村、平野村、今泉村 →志都美村(大字今泉/初代村長・牧浦治平) 五位堂村：他村より人口が多く、中心的存在であった。 二上村：二上山から命名される。 下田村：下田あたりが交通の要衝であった。 志都美村：今泉村の志都美神社から命名される。
明治23年(1890)	5月	府県制を公布
明治30年(1897)	4月1日	県内15郡を10郡に統廃合 葛下郡・広瀬郡を併せ北葛城郡が発足
	8月1日	郡制を実施 各郡に郡役所を置く。 北葛城郡(郡役所：高田町)―1町19村 葛下郡(1町14村) 現香芝市(五位堂村・二上村・下田村・志都美村) 現大和高田市(高田町・浮孔村・磐園村・陵西村・土庫村・松塚村) 現葛城市(新庄村・磐城村・當麻村) 現王寺町(王寺村)、現上牧町(上牧村) 広瀬郡(5村) 現広陵町(瀬南村・馬見村・百濟村・箸尾村)、現河合町(河合村) *大正15年7月1日郡役所廃止 以降は地域区分名称となる。
		大正12年：新庄村→新庄町 大正15年：王寺村→王寺町 昭和2年：箸尾村→箸尾町、土庫村・松塚村が高田町に編入 昭和16年：浮孔村・磐園村が高田町に編入

		昭和23年：高田町→大和高田市 昭和28年：馬見村→馬見町 昭和30年：瀬南村・馬見町・百濟村→広陵町 昭和31年：五位堂村・二上村・下田村・志都美村→香芝町 磐城村・當麻村→當麻村、箸尾町が広陵町に編入 陵西村が大和高田市に編入 昭和32年：大字畠田の一部を王寺町に編入、一部を大字尼寺に名称変更 昭和41年：當麻村→當麻町 昭和46年：河合村→河合町 昭和47年：上牧村→上牧町 平成3年：香芝町→香芝市 平成16年：新庄町・當麻町→葛城市
昭和24(1949)年	4月1日	下田村・二上村(當麻村加守・丸柏を含む)・志都美村・五位堂村組合立香芝中学校(現香芝中学校)が開校
昭和28(1953)年	10月1日	町村合併促進法施行 関係町村間に審議会を設置
昭和30(1955)年	9月頃～	下田村・二上村・志都美村・五位堂村で合併の動き活発化
昭和31(1956)年	2月	基本方針がまとまる。
合併の基本方針		
	○発足時期	昭和31年4月1日とする。
	○合併する村	五位堂村・下田村・二上村・志都美村の四か村 ・當麻村大字加守・丸柏地区は加わりたいとの希望があったが、法的には実現できず。 また、二上村の一部には當麻村へ編入したいという動きがかなり強くみられた時期もあったとされる。
	○合併の形態	対等合併
	○町名	香芝町
	○庁舎の位置	当分旧下田村役場を仮庁舎とする。ただし財政の都合をみてなるべく速やかに新庁舎を近鉄下田駅周辺の便利なところに建設する。
	○支所	向う1年間は、他の旧三か村役場を支所とする。
	○町長・職員	初代町長は旧下田村長田中國太郎氏とする。旧各村助役以下全職員を新町に引継ぐ。
	○町議会議員	法定により新町発足後1年間は、旧村各議員が在任。
	○財産・負債	何れも現状のまま、白紙で新町に帰属する。
	町名論争	2月28日、四か村合併促進協議会において下田村は「下田」、五位堂村は「香芝」「恵心」、志都美村は「香芝」「大和」を二上村は「二上」を主張するも決まらず、現村名を用いないということで「大和」と「西和」に絞り「大和」に決定。 3月11日、四か村村長議長による財政状況の審議会において「大和」の町名を白紙に戻し、香芝中学校関係諸村として「香芝」に変更決定。 3月12日、緊急臨時村会を招集し、町名「大和」を「香芝」に改名する議決を得る。
	「香芝」の由来	この名は、広く一般から公募し、当時の県視学中川良秀氏らによって命名された。 「香芝」は、香芝中学校がある小字「香の池尻」の俗称地名「カマシバ」の転訛の説が有力で、大字の「鹿島」があったことや下田の鹿島神社の鎮座する「鹿島」との間に小字「カシマヘ」があったことや、これが、「カマシマヘ」と訛り、音節の転倒によって「カマシバ」・・・「コウノシバ」「香の芝」となったのだと考えられている。
	調印式	3月13日、下田村役場会議場にて県地方課長立会いの下、四か村の村長、議長が同席して調印式を行う。
	4月1日	香芝町が町制施行

参考文献：香芝町史、奈良県政70年史、奈良県の歴史(県史29)<山川出版社>、全集日本の歴史第13巻文明国を目指して<小学館>

ホームページ：香芝市/香芝の沿革、奈良県/平成27年度統計年鑑、総務省/地方自治制度

郡沿革表

国名	えんぎ 延喜式 927年完成	吾妻鏡 その他 1300年頃	郡名考・ 元禄郷帳 1700年頃	郡区編成 1880年頃	現在	
					郡 1897年	市 市制施行日
大和	添上	添上	添上	添上	添上郡(平成17年4月1日 月ヶ瀬村が奈良市に編 入して消滅)	奈良市 明治31年2月1日 大和高田市 昭和23年1月1日
	添下	添下	添下	添下	生駒郡	大和郡山市 昭和29年1月1日
	平群	平群	平群	平群		天理市 昭和29年4月1日
	山辺	山辺	山辺	山辺	磯城郡	橿原市 昭和31年2月11日
	城上	城上	式上	式上		桜井市 昭和31年9月1日
	城下	城下	式下	式下		五條市 昭和32年10月15日
	十市	十市	十市	十市	南葛城郡 (御所市誕生にて消滅)	御所市 昭和33年3月31日
	葛上	葛上	葛上	葛上		生駒市 昭和46年11月1日
	忍海	忍海	忍海	忍海	北葛城郡	香芝市 平成3年10月1日
	葛下	葛下	葛下	葛下		葛城市 平成16年10月1日
	広瀬	広瀬	広瀬	広瀬	高市郡	宇陀市 平成18年1月1日
	高市	高市	高市	高市		宇陀郡
	宇陀	宇陀	宇陀	宇陀	宇智郡 (五條市誕生にて消滅)	
	宇智	宇智	宇智	宇智		吉野郡
吉野	吉野	吉野	吉野	吉野郡		

県史29奈良県の歴史山川出版社等を参考に作成

12市の成立時期と前身自治体

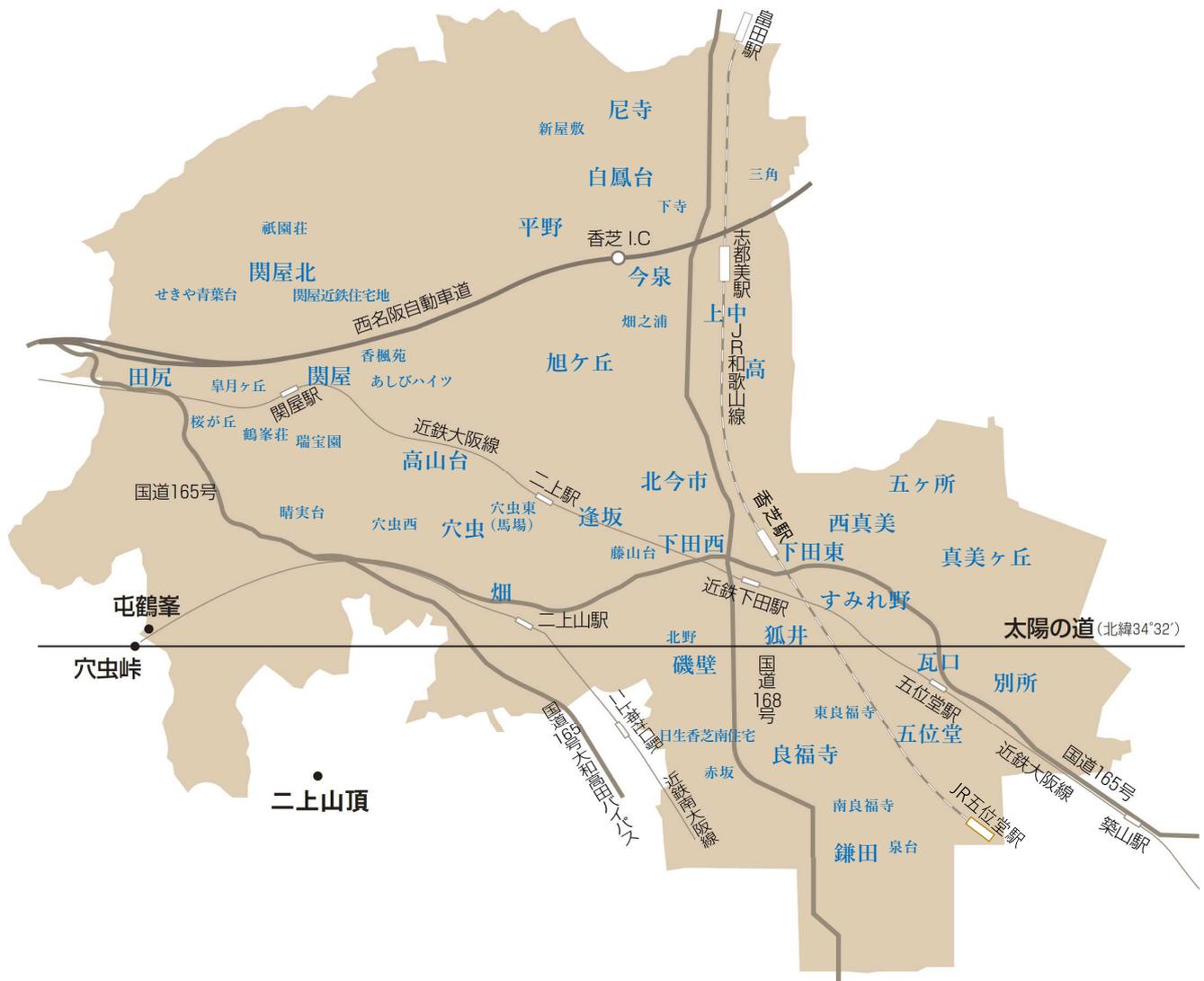
市	市制施行年月日	前身自治体
奈良市	明治31年2月1日	添上郡奈良町を奈良市とする。1市18町142村
大和高田市	昭和23年1月1日	北葛城郡高田町を大和高田市とする。
大和郡山市	昭和29年1月1日	生駒郡大和郡山町を大和郡山市とする。
天理市	昭和29年4月1日	山辺郡丹波市町、二階堂村、朝和村、福住村、添上郡櫛本町及び磯城郡柳本町を廃し、天理市を置く。
橿原市	昭和31年2月11日	磯城郡耳成村、高市郡畝傍町、今井町、八木町、真菅村及び鴨公村を廃し、橿原市を置く。
桜井市	昭和31年9月1日	磯城郡桜井町を桜井市とする。
五條市	昭和32年10月15日	宇智郡五條町、牧野村、北宇智村、宇智村、大阿太村、南阿太村、野原町及び阪合部村を廃し、五條市を置く。
御所市	昭和33年3月31日	南葛城郡御所町、葛村、葛上村及び大正村を廃し、御所市を置く。
生駒市	昭和46年11月1日	生駒郡生駒町を生駒市とする。
香芝市	平成3年10月1日	北葛城郡香芝町を香芝市とする。10市20町17村
葛城市	平成16年10月1日	北葛城郡新庄町及び當麻町を廃し、葛城市を置く。
宇陀市	平成18年1月1日	宇陀郡大宇陀町、菟田野町、榛原町及び室生村を廃し、宇陀市を置く。

奈良県ホームページ統計年鑑等を参考に作成

香芝町が誕生した当時(昭和31年4月1日)の町勢

旧 村 名	人口(人)	世帯数(戸)	面積(km ²)	議員数(人)
	(官報公示)	(国調 S30)		
五位堂村 (村長・瀧井芳一) (五位堂・鎌田・良福寺・別所・瓦口)	3,333	628	3.7	16
下田村 (村長・田中國太郎) (下田・逢坂・狐井・北今市・五ヶ所)	4,096	795	3.7	12
二上村 (村長・山本甚五郎) (磯壁・畑・穴虫・関屋・田尻)	4,950	965	8.6	16
志都美村 (村長・黒松喜洲) (高・上中・今泉・平野・畠田)	3,172	563	10.3	16
*畠田は、昭和32年1月1日に大部分が王寺町に編入され、香芝町内の畠田を尼寺と改称した。 *新町議会は旧村議会議員全員をもって構成され、下田小学校の旧講堂を議場とした。				
香 芝 町 (町長・田中國太郎)	15,551	2,951	26.3	60
香 芝 市(H29.11.30)	79,347	30,849	24.26	16

香芝市内各地区案内図



香芝市民図書館ボランティアサークル「ラ・ボ」
香芝の民話絵・さわる絵本



香芝検定

平成30年版

— 香芝検定実行委員会 —